

# 菜の花

平成27年度学校教育目標  
重点目標

「心ゆたかに たくましく」  
「めあてに向かって 挑戦する子」

伊豆の国市立長岡北小学校  
Tel 055-948-1062  
学校だより 27/6/23 18号



## 田植え体験

籾まきをしてから約1ヶ月、苗も大きく育ち、田植えができるまで成長しました。

6月18日(木)に5年生が田植えを実施しました。不安定な田んぼの中に入り、悪戦苦闘しながら植えている姿がとても印象的でした。

体験した子どもの感想は次の通りです。

### 伊丸岡 沙南さん

思った以上に難しくて、苗を立てるのも難しくてたいへんだったし、足も上手く抜けなくて、困ったときもあったけど、なぜか、楽しかった。最後までやれなくて、残念だった。あと、周りの友達と協力できて良かった。楽しかった。



### 水島月野さん

実際にやると、平らにならさなくては、苗が横になったり、腰が痛くなったりして、農家の人はいたいへんだなと思いました。機械でやると20分ほどで終わることを知り、すごいなと思いました。機械でやった方が、ぴんと苗がたっていました。手作業の方は、あとになって横に倒れてしまっていたものもありました。たくさん学んでお米ができるまでのことがよくわかりました。



### 館林歩花さん

土がどろどろで気持ち悪かったけど、みんなで協力して、半分くらい植えられて良かったです。田植えをやるのは初めてだったけど、この体験ができてうれしかったです。また、できるときがあったら、やってみたいと思いました。10月になったら、おいしいご飯が食べられるので、たくさんできるといいなと思います。



### 松永娃音さん

どろがぐによぐによしてとても植えるのが難しかったです。最初植えたときは、少し手が汚れるから嫌だと思って、少ししか入れませんでした。でも、10月か11月くらいにとっても良いお米ができると思うと、きたなくてもぐんぐん進んでいけるようになりました。早く、10月か11月になっておいしいお米になってほしいと心から思いました。今日はとても楽しかったです。



### 赤池 心寧さん

平らにならさないと苗を深植えることができないことがわかりました。苗を植えるのは本当にたいへんなことがわかりました。

## 青木 大芽さん

最初は気持ち悪いなと思ったりしましたが、田んぼに入ると気持ちよくて、どんどん進みたくなりました。でも、ずっとやっていくうちにバランスがとれず倒れたりしました。



# 夢の教室

「JFAこころのプロジェクト」が主催する「夢の教室」が本校5年生を対象に実施されました。

今回は、ハンドボール元日本代表キャプテンをつとめられた東俊介さんが講師「夢先生」として来校し、体育館で体を使ったゲームを1時間、教室で講義を1時間、合計2時間の授業を受けました。

いじめや自殺、引きこもり、無気力といった子どもたちに関する暗いニュースが多く取り上げられていた2006年。「いま、子どもたちのために、サッカーは何かできるだろう」こんな時代だからこそ、「一人でも多くの子どもたちに、夢を持つことの素晴らしさを伝えたい。」そんな思いから、「JFAこころのプロジェクト」は誕生したそうです。



コンセプトは「夢」。



2007年4月、「Jリーグ、なでしこリーグの現役選手やOB/OGなど、サッカー関係者を夢先生として小学校に派遣し、「夢を持つことやそれに向かって努力することの大切さ」を伝えていく「夢の教室」がスタート、スタートから8年を経て、“熱きところ”を持つ仲間の輪は、競技、ジャンルを超え、広がり続け、今回、ハンドボール元日本代表選手を迎えることになりました。

教室での講師からの話では、「夢を持つ子どもは、自ら目標に向かって努力し、仲間を大切にすることが出来る。」という話を中心に、子どもに熱く語りかけてくれました。

